



## 小見山 道

(日本大学松戸歯学部 顎口腔機能補綴学講座)

### 『顎関節症の検査と診断、原因療法と対症療法の考え方』

#### <要旨>

日本顎関節学会では、顎関節症の病態分類を国際的に認定されている Diagnostic Criteria for Temporomandibular Disorders (DC/TMD)との整合性を配慮して行いました。そして「顎関節症の概念 2013」、「顎関節症の病態分類 2013」、「顎関節・咀嚼筋の疾患あるいは障害 2014」、「顎関節症と鑑別を要する疾患あるいは障害 2014」を公表しています。また「顎関節症の診断基準 (2019)」を公表し、それに沿った顎関節症の治療指針 2020 を公表し、さらに顎関節症の治療指針 2025 に更新しました。今回はこの診断基準に沿って、病態（咀嚼筋痛障害、関節痛障害、復位性関節円板障害、非復位性関節円板障害、変形性顎関節症）と診察、開口域等の計測、顎関節雑音の触知、咀嚼筋・顎関節の触診などの検査から診断について、主に開業医の先生方等を対象として新たに作成された「顎関節症診療を行うための手引き」「簡易質問票・診察・検査用紙」および「簡易診断・治療マニュアル」を用いて説明します。また、顎関節症の治療における、原因療法と対症療法について、「顎関節症簡易治療マニュアル」と共に説明します。

まずは、本講演を顎関節症について診察、検査、診断から基本治療を再確認する機会として聴講ください。さらに今回の学術講演会では本講演に引き続き、顎関節症の原因療法と対症療法の概念を基本とした治療選択について解説いただきます。本講演の内容を踏まえて、以降の講演を聴講ください。

#### <講演内容>

- I 顎関節症の病態分類
- II 顎関節症の診断基準
- III 各病態の病歴と診察

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎関節症の病態を説明できる
- ・医療面接を実施できる
- ・口腔外の診察を実施できる
- ・顎関節症の診断および病態診断ができる

#### <略歴>

1989 年 日本大学松戸歯学部卒業  
1990 年 日本大学松戸歯学部 総義歯補綴学講座  
1998 年 日本大学 博士 (歯学)  
2001 年 日本大学助手 (松戸歯学部・総合歯科診療学)  
2002 年 日本大学講師 (松戸歯学部・総合歯科診療学)  
2003 年~2005 年 ベルギー王国ルーベンカトリック大学歯学部 客員教授  
2011 年~日本大学准教授 (松戸歯学部・顎口腔機能治療学)  
2016 年~日本大学教授 (松戸歯学部・顎口腔機能治療学, 2021 年~クラウンブリッジ補綴学,  
2024 年~顎口腔機能補綴学)  
日本大学松戸歯学部附属病院 顎関節咬合科科長

#### <代表的所属学会等>

日本顎関節学会 (理事長 指導医)  
日本口腔顔面痛学会 (監事 指導医)  
日本補綴歯科学会 (副理事長 指導医)、日本疼痛学会 (評議員)、日本慢性疼痛学会 (理事)  
日本顎口腔機能学会 (副会長)、日本歯科心身医学会 (評議員)  
International Association of Dental Research (Past President for Neuroscience Group)  
Asian Academy of Craniomandibular Disorders (Council member)  
International Association for the Study of Pain



## 飯田 崇

（日本大学歯学部 歯科補綴学第Ⅱ講座）

### 『睡眠時ブラキシズムへの対応と口腔内装置によるマネジメント』

#### <要旨>

顎関節症の治療において、睡眠時ブラキシズムは避けて通ることのできない病因の一つであり、そのマネジメントは治療成績の向上に大きく寄与する。本講演では、ブラキシズムに関する知見を整理することを目的とし、病態生理、診断、マネジメントについて概説する。とくにマネジメントにおいては、睡眠の質の改善といった非侵襲的介入の意義を踏まえつつ、口腔内装置療法の適応および限界を整理するとともに、包括的なマネジメントを提案する。

#### <講演内容>

- I 睡眠時ブラキシズムについて
- II 睡眠時ブラキシズムのマネジメントについて
- III 口腔内装置を用いた治療について

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎口腔系の習癖を説明できる
- ・顎口腔機能検査所見を説明できる
- ・オクルーザルアプライアンス（スプリント）療法を行える

#### <略歴>

- 2003 年 日本大学松戸歯学部卒業  
2007 年 日本大学大学院松戸歯学研究科修了  
2007 年 日本大学松戸歯学部 助教  
2010 年～2012 年 デンマーク王国オーフス大学歯学部 ポストドクタルフェロー  
2016 年 日本大学松戸歯学部 専任講師  
2021 年 日本大学松戸歯学部 准教授  
2026 年 日本大学歯学部 教授

#### <代表的所属学会等>

President, Neuroscience Group, International Association for Dental Research  
Editorial Board Member, Journal of Oral Rehabilitation  
Associate Editor, Journal of Prosthodontic Research  
Council member, Asian Academy of Craniomandibular Disorders  
他



## 西山 暁

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 総合診療歯科学分野  
東京科学大学病院 顎関節症外来

### 『原因療法としての日常生活指導と 覚醒時ブラキシズムへの対応』

#### <要旨>

顎関節症は多因子性疾患であり、多くのリスク因子が発症や増悪に関与する。しかし、それらすべてが同等に影響するわけではない。なかでも、顎関節や咀嚼筋に直接的な負荷を与えるブラキシズムは重要な因子であり、特に覚醒時ブラキシズムの影響は大きい。覚醒時ブラキシズムは、中枢性に生じる睡眠時ブラキシズムとは異なり、習癖行動としての側面を有するため、適切な介入によりコントロールが可能である。本講演では、覚醒時ブラキシズム、とくに tooth contact habit (TCH) に焦点を当て、その影響、発生要因、および対応法について解説する。

#### <講演内容>

- I 覚醒時ブラキシズムによる影響
- II 覚醒時ブラキシズムの発生理由
- III 覚醒時ブラキシズムへの対処法

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎口腔系の習癖を説明できる
- ・顎関節症の発症メカニズムと症候、継発する病態を説明できる
- ・顎医療面接を実施できる
- ・各病態に対し治療・管理目標を設定できる
- ・生活指導、習癖の指導を行える

#### <略歴>

- 1995 年 3 月 東京医科歯科大学歯学部卒業  
1999 年 3 月 東京医科歯科大学歯学部大学院修了 歯学博士号取得  
2002 年 6 月 東京医科歯科大学大学院 部分床義歯補綴学分野 助教  
2007 年 4 月 東京医科歯科大学 歯学部附属病院 顎関節治療部 助教  
2016 年 4 月 東京医科歯科大学大学院 口腔顔面痛制御学分野 講師  
2021 年 12 月 東京医科歯科大学大学院 総合診療歯科学分野 准教授  
(2021 年 10 月より 東京医科歯科大学病院 顎関節症外来 診療科長)  
2024 年 10 月 東京科学大学大学院 総合診療歯科学分野 准教授  
東京科学大学病院 顎関節症外来 診療科長

#### <代表的所属学会等>

- 日本顎関節学会 理事（認定歯科顎関節症専門医・指導医）  
日本顎関節学会主催 DC/TMD 認定セミナー修了  
日本演奏家芸術医学会 理事



## 村岡 渡

(恵比寿あごと歯のクリニック／川崎市立井田病院歯科口腔外科)

### 『顎関節症の理学療法と薬物療法』

#### <要旨>

多岐にわたる治療法の選択において、原因療法と対症療法を整理し、より効果的な治療を検討します。「顎関節症簡易治療マニュアル」を踏まえて、日常生活に困らないレベルまでの QOL の改善を目標とし、保存的で可逆的な治療を選択します。全病態共通の治療法と各病態別の治療方法について、原因療法と対症療法に整理しながら、具体的な理学療法と薬物療法について解説します。

#### <講演内容>

- I 顎関節症の治療
- II 顎関節症における理学療法
- III 顎関節症における薬物療法

#### <専門医カリキュラム>

- ・各病態に対し治療・管理目標を設定できる
- ・生活指導，習癖の指導を行える
- ・理学療法を行える
- ・薬物療法を行える

#### <略歴>

1997 年 鶴見大学歯学部卒業、慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科研修医  
1999 年 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科専修医、国立栃木病院歯科口腔外科医員  
2001 年 清水市立病院口腔外科医員  
2003 年 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科助手  
2006 年 日野市立病院歯科口腔外科主任医員  
2012 年 川崎市立井田病院歯科口腔外科医長  
2017 年 川崎市立井田病院歯科口腔外科部長  
2025 年 恵比寿あごと歯のクリニック開設/院長  
川崎市立井田病院歯科口腔外科 顎関節・口腔顔面痛外来担当（非常勤）  
慶應義塾大学病院歯科・口腔外科 顎関節・口腔顔面痛外来担当（非常勤講師）

#### <代表的所属学会等>

日本顎関節学会 認定歯科顎関節症専門医、指導医、理事  
日本口腔顔面痛学会 専門医・指導医、常務理事  
日本口腔外科学会 認定口腔外科専門医、代議員  
Diplomate of American Board of Orofacial Pain（米国口腔顔面痛学会ボード認定専門医）  
Asian Academy of Orofacial Pain and Temporomandibular Disorders, Councilor  
医学博士（慶應義塾大学）



## 高原 楠旻

(横浜歯科口腔外科クリニック)

### 『顎関節症の外科治療(顎関節腔穿刺から関節鏡視下手術まで)』

#### <要旨>

顎関節症 (temporomandibular disorders: TMD) は、疼痛、開口障害、関節雑音など多様な臨床症状を呈する疾患群であり、多くは保存的治療により改善が得られる。しかしながら、一部の症例では保存療法に抵抗性を示し、外科的介入が治療選択肢として検討される。本講演では、低侵襲外科治療としての顎関節腔穿刺から関節鏡視下手術に至るまでの治療体系を整理し、適応判断、術式選択、および治療成績について概説する。

#### <講演内容>

- I 顎関節症の病態と診断
- II 顎関節円板障害に対する治療
- III 変形性顎関節症に対する治療
- IV 保存療法や外科的介入の適応とそのタイミング

#### <専門医カリキュラム>

- ・顎関節症の診断および病態診断ができる
- ・各病態に対し治療・管理目標を設定できる
- ・外科的療法の適応症を判断できる

#### <略歴>

- 2004 年 新潟大学歯学部卒業  
東京医科歯科大学 顎口腔外科学分野入局後、焼津市立病院、千葉県がんセンター等で研鑽
- 2018 年 東京医科歯科大学 顎顔面外科学分野 助教
- 2022 年 同 講師
- 2024 年 東京科学大学 顎顔面外科学分野 講師
- 2026 年 横浜歯科口腔外科クリニック開設 (院長) 東京科学大学 非常勤講師

#### <代表的所属学会等>

- 日本顎関節学会 認定歯科顎関節症専門医・指導医  
日本口腔外科学会 専門医・指導医  
日本顎変形症学会 認定・指導医